



コルクタイルの多様性が凄い！

ほそが
まが

Interior-HOSOI mail magazine
Vol. 13 made by G.Y.K

こんにちは。
メルマガ13号は
『コルクタイルの機能・意匠性』
のご紹介。

コルクタイルとは？

コルクと言えばワインの栓！を思い浮かべる方も多いと思いますが、なぜかと言いますと**機密性、断熱性**にとっても長けている材料なのです！
空気に触れると劣化してしまうワインをコルクで栓をすることで空気を絶ち、劣化を防いでいるのだとか！納得の理由です！そんな機能性抜群なコルクで作ったコルクタイルの原料はコルク樫という木から採れる『**樹皮**』を使用しています。木を伐採することが無く原料が採取できることから、自然保護と素材供給を両立できる素材・商品として**エコマーク認定**もされているそうです。



コルクタイルのメリット

東亜コルク株式会社

すべりにくく歩きやすい！

コルクには 1cm あたり 4,200 万個という微細な気泡が含まれており、これによってしなやかな弾力性を発揮しております！

● 歩行性 (防滑性)			
表面仕上の種類	すべりやすい (CSR)	すべりの許容範囲とコルクの数値	すべりにくい
		0.50	1.00
軟底靴			
許容範囲	0.40	● 0.50 ※1	1.00
セラミック仕上 (防滑タイプ)			1.16 ●
スリッパ			
許容範囲	0.30	● 0.40 ※2	0.63
セラミック仕上 (防滑タイプ)		● 0.52	
強化ウレタン仕上		● 0.40	

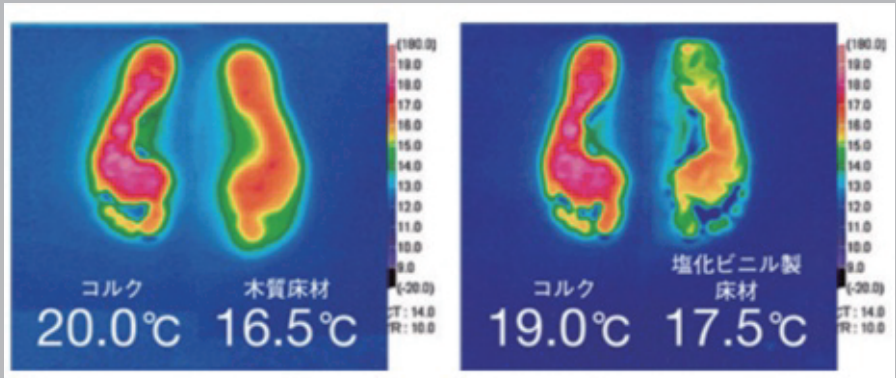
許容範囲	0.30	● 0.35 ※3	0.48
靴下			
セラミック仕上 (防滑タイプ)		● 0.36	
天然オイル仕上	● 0.30		
特殊樹脂ワックス仕上	● 0.32		
強化ウレタン仕上	● 0.30		

※1：最適値0.50
※2：最適値0.40
※3：最適値0.35

於 東京工大 床性能研究会

素足でもヒヤッとしない！

コルクの床は他の一部木質床材に比べて保湿性が高く、床表面温度が下がりにくいいため、足が触れた時の放熱効果を解消してくれるそう！
また、表面がベトベトしにくいいため、夏場も快適なんだとか！



於 福岡大学 須貝研究室
設定温度: 10.0°C 床材の種類: コルク・塩化ビニル製床材・木質床材 測定条件: 気温 10°C に設定してある人工気候室において、室温と同じ 10°C に冷えた床材に素足で 2 分間直立した状態を保つ。素足を床材から離れた直後に熱画像測定を行う。

衝撃をやさしく和らげる！

コルクの微細な気泡による弾力性が、万が一転倒しても身体に伝わる衝撃を優しく和らげてくれます！

炭化膨張して延焼を防止！

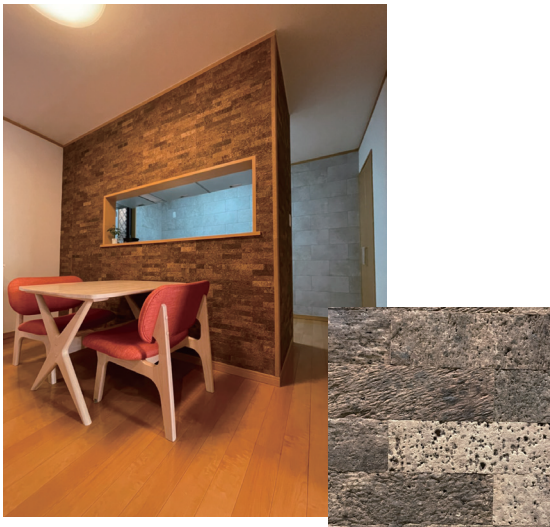
万が一の火災発生時にも、コルクが炭火・膨張することで炎を呼び込む空気の流れをしっかりと遮断。延焼を抑えてくれる役割もあります。

いかがでしたでしょうか？

東亜コルクさんでは、床に使用するコルクから、意匠性を意識した壁施工用のコルクまで魅力的な商材がたくさんあります。是非参考にしてみてください！最後に…弊社施工例写真をご紹介します！



無塗装のコルクタイルを床に施工。
天然素材ならではの絶妙な足触りがサイコーなんです！
裸足で歩いても冷たなくて、快適ですよ！



こちらは壁面用のコルクを施工！厚みが 7.5mm もあり、椅子や机が少々当たってもへっちゃらです！表情もレンガのような模様が入っていてアクセントにピッタリでした。